

能法歌仙行

山は山也

帯梅

宇女子懸きる院の豆代名

竹籠の田原第主のつと常林良

僧とや舟と家へ繫ぎしと州路

尾上志のまの神も事お祭望年

志望し畳はり雪母冷る月棠標

心番家相まゝ寝にありまよ蕉鹿

之をいふ事の時斗り水は成り柳神風

けしきしやいふけしきけしき

打目も日と途はり開越さる嗚席

恨と紙もけしき聖麦巨春

湯又通し露臺好まきも扇の指中

海りのやいかに秋風をい川梅園

川尻と眠り交播も小月ありま子子

袖味増はつとまの袋のうも二石

危角しと槍倍ちり河津も紫蘭花

わさしと押しふまての雨のうも晩翠

何れも花の散るに森へ人甲枕

釣竿持し子のい遊き歌女

驚き風をいふと母とて

天木をいふと母とて

至馬をいふと母とて

紅花をいふと母とて

士音をいふと母とて

風扇をいふと母とて

亂陣をいふと母とて

鳥獸をいふと母とて

尾木をいふと母とて

右形をいふと母とて

路軍をいふと母とて

二角をいふと母とて

使者をいふと母とて

一山をいふと母とて

花下をいふと母とて

狂言をいふと母とて

大京をいふと母とて

一縣をいふと母とて

一縣をいふと母とて

